

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ・一般社団法人全国高等学校PTA連合会合同調査
 第8回 高校生と保護者の進路に関する意識調査2017

子どもの進学時に 保護者が最重要と考える情報は「進学費用」 前回トップの「入試制度」を上回る

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋）と一般社団法人全国高等学校PTA連合会（所在地：東京都千代田区 会長 牧田 和樹）は、高校2年生とその保護者に対し、進路に関する考え方やコミュニケーションの実態を探る調査を実施いたしました。ここに集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

【進路選択について】

- 進路選択のアドバイスが「難しい」と感じる保護者は71%。…P.3
 理由のトップは「入試制度をはじめ最新の進路情報を知らないから」（45.5%）。
- 進学にあたり保護者が重要だと考える情報は、「進学費用」「入試制度」「将来の職業との関連」。…P.4
 ・進学にあたり保護者が最も重要だと考える情報は、1位「進学費用」55.3%、2位「入試制度」50.3%。
- 子どもの進路選択において、保護者が行ったことがあるのは「将来の職業をアドバイスする」がトップ。…P.5
 ・「興味をもった学校の見学に行く」は前々回から11.0ポイントと全項目の中で一番アップしており、オープンキャンパスへの保護者参加が増えている。
- 進路選択を考える時の気持ちは、「楽しい」23%、「不安」72%。
 「不安」な気持ちの高校生が7割を超える。…P.6
 ・進路選択で保護者にやめてほしいことは、「望みを高く持ちすぎないでほしい」が30.7%でトップ。

【将来必要な力と現在持っている力のギャップ】

- 「社会で働くにあたって必要とされる」が子どもに不足している能力は、「主体性」「実行力」「発信力」。…P.7
 ・「社会で働くにあたって必要とされる能力」を身につける有効な場のトップ3は、すべて教科外活動（部活動・校外活動・文化祭や体育祭）で、教科の学習（教科の時間・総合的な学習の時間）より高いスコアとなった。

【これからの社会について】

- 保護者と高校生の“将来社会の展望”は前回・前々回調査から連続して上昇傾向。…P.8
 ・保護者「好ましい」 2013年（26.4%）＜2015年（27.8%）＜2017年（34.0%）
 ・高校生「好ましい」 2013年（41.9%）＜2015年（48.1%）＜2017年（51.5%）

【将来へのAI影響について】

- AIは将来に「影響がある」と回答した高校生は保護者より13ポイントも高かった。…P.9
 ・「影響がある」 保護者（38.7%）＜高校生（52.0%）

【就いてほしい職業・就きたい職業】

- 保護者の「就いてほしい職業」のトップは「公務員」32%。…P.10
- 高校生の「就きたい職業」のトップは「教師」11%。

※出版・印刷物へデータを転載する際には、“「高校生と保護者の進路に関する意識調査2017」

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ・一般社団法人全国高等学校PTA連合会合同調査”と明記ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにない、出会い。」を届けることを目指していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

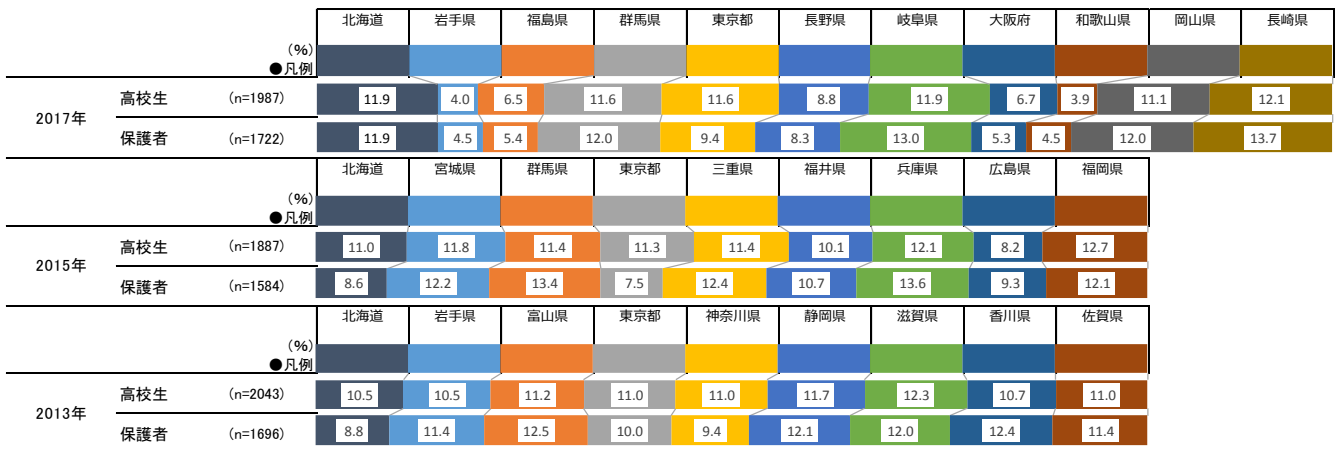
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【調査概要】

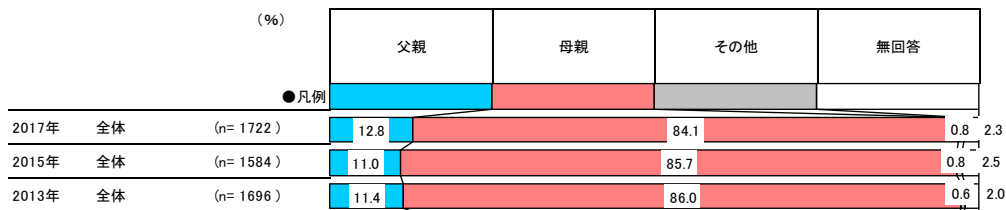
- ・ 調査目的：高校生を持つ保護者とその子どもにおけるコミュニケーションの実態と進路観の現状を把握する
 - ・ 調査主管：一般社団法人全国高等学校PTA連合会、株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
 - ・ 調査対象：高校2年生とその保護者
 一般社団法人全国高等学校PTA連合会より依頼した11都道府県の公立高校27校
 ※岩手県1校、福島県2校、大阪府2校、和歌山県1校、その他7都道府県各3校
 ※各校：2年生2クラスの生徒とその保護者
- | | |
|-------|------------------------------------|
| 2017年 | 北海道 岩手 福島 群馬 東京 長野 岐阜 大阪 和歌山 岡山 長崎 |
| 2015年 | 北海道 宮城 群馬 東京 三重 福井 兵庫 広島 福岡 |
| 2013年 | 北海道 岩手 富山 東京 神奈川 静岡 滋賀 香川 佐賀 |
- ※調査実施校所在地は毎年変わるため、時系列データは参考
- ・ 調査期間：2017年9月15日（金）～2017年10月26日（木）回収終了
 - ・ 調査方法：（1）高校生 ホームルーム時にアンケート実施
 （2）保護者 高校生から保護者へアンケートを手渡して依頼、実施
 クラスごと学級担任が高校生・保護者アンケートをまとめ、学校ごとに回収
 - ・ 有効回収数：（1）高校生 1987名 ※全問無回答1名を除く
 （2）保護者 1722名 ※全問無回答11名を除く

【回答者プロフィール】

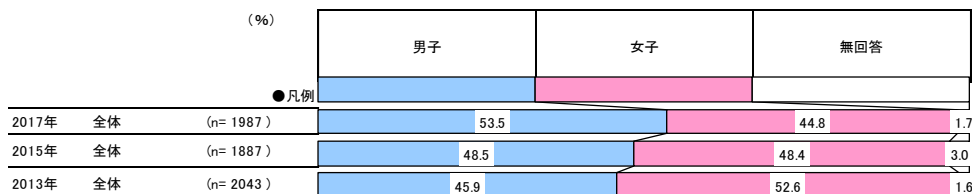
【保護者・高校生】時系列 調査対象校所在都道府県（全体）



【保護者】時系列 続柄（全体／単一回答）



【高校生】時系列 性別（全体／単一回答）



【保護者：進学にあたって重要だと思う情報】

■保護者が最も重要だと考える情報は「進学費用」が55%。

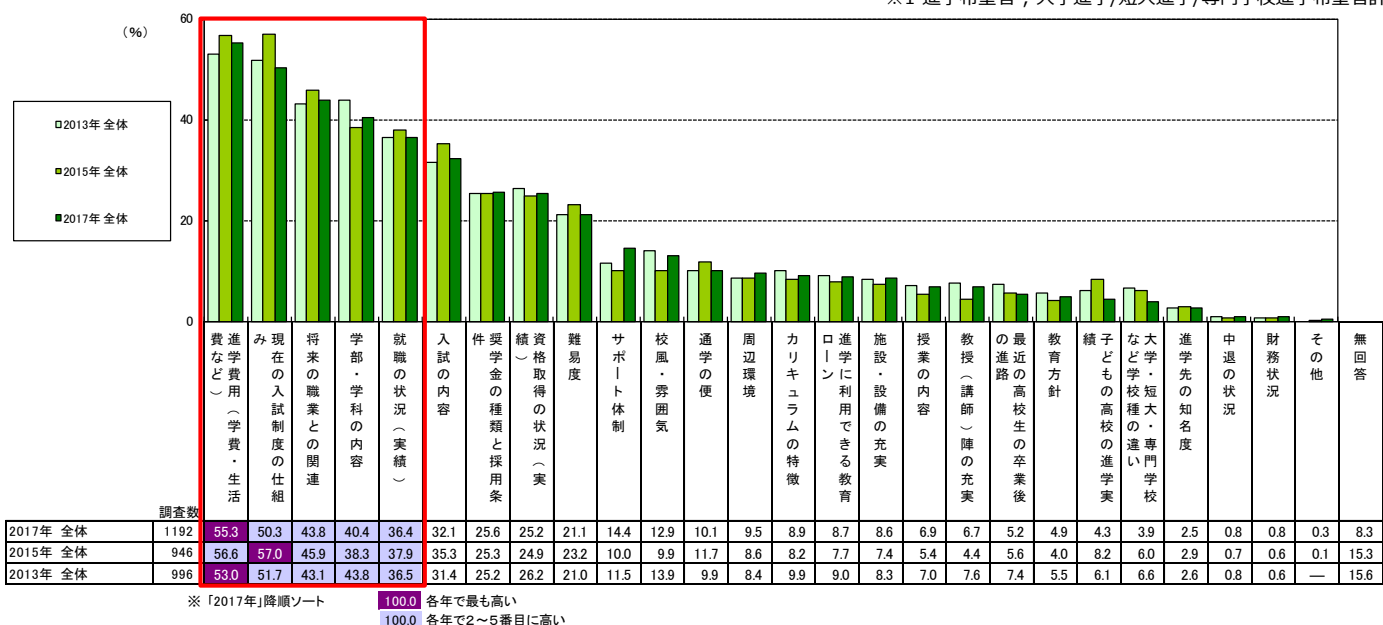
前回の「現在の入試制度の仕組み」を抑えて再び1位となった。

- 1位「進学費用」 (55.3%)
- 2位「現在の入試制度の仕組み」 (50.3%)
- 3位「将来の職業との関連」 (43.8%)
- 4位「学部・学科の内容」 (40.4%)
- 5位「就職の状況」 (36.4%)

■保護者が特に重要だと考える情報の上位5項目の取得状況をみると、いずれも「不足している・計」が半数を超え、「取得している・計」を上回った。

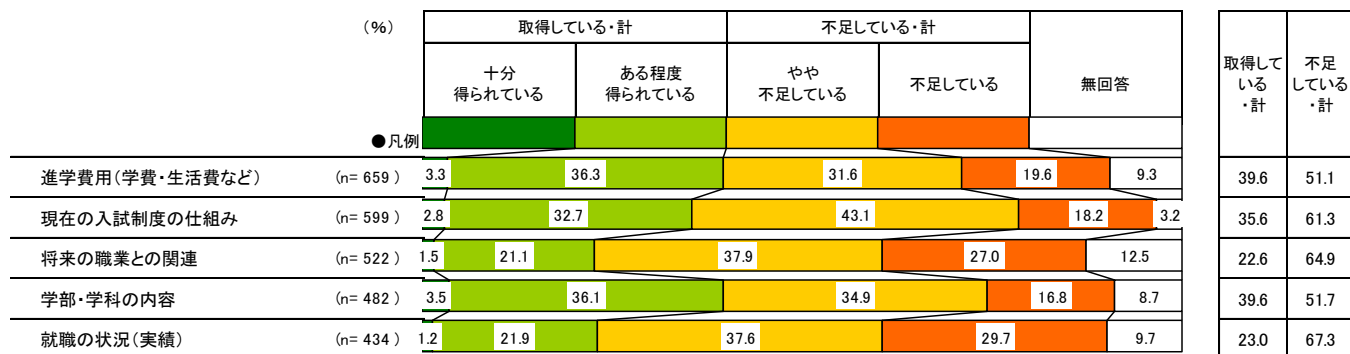
【保護者】時系列 特に重要な情報（進学希望者（※1）／5項目まで複数回答）

※1 進学希望者；大学進学/短大進学/専門学校進学希望者計



【保護者】特に重要な情報 上位5項目の取得状況

(進学希望者（※1）、かつ各項目を「特に重要な進学情報」と回答した者のみ／各単一回答)



【保護者：進路選択への関わり方】

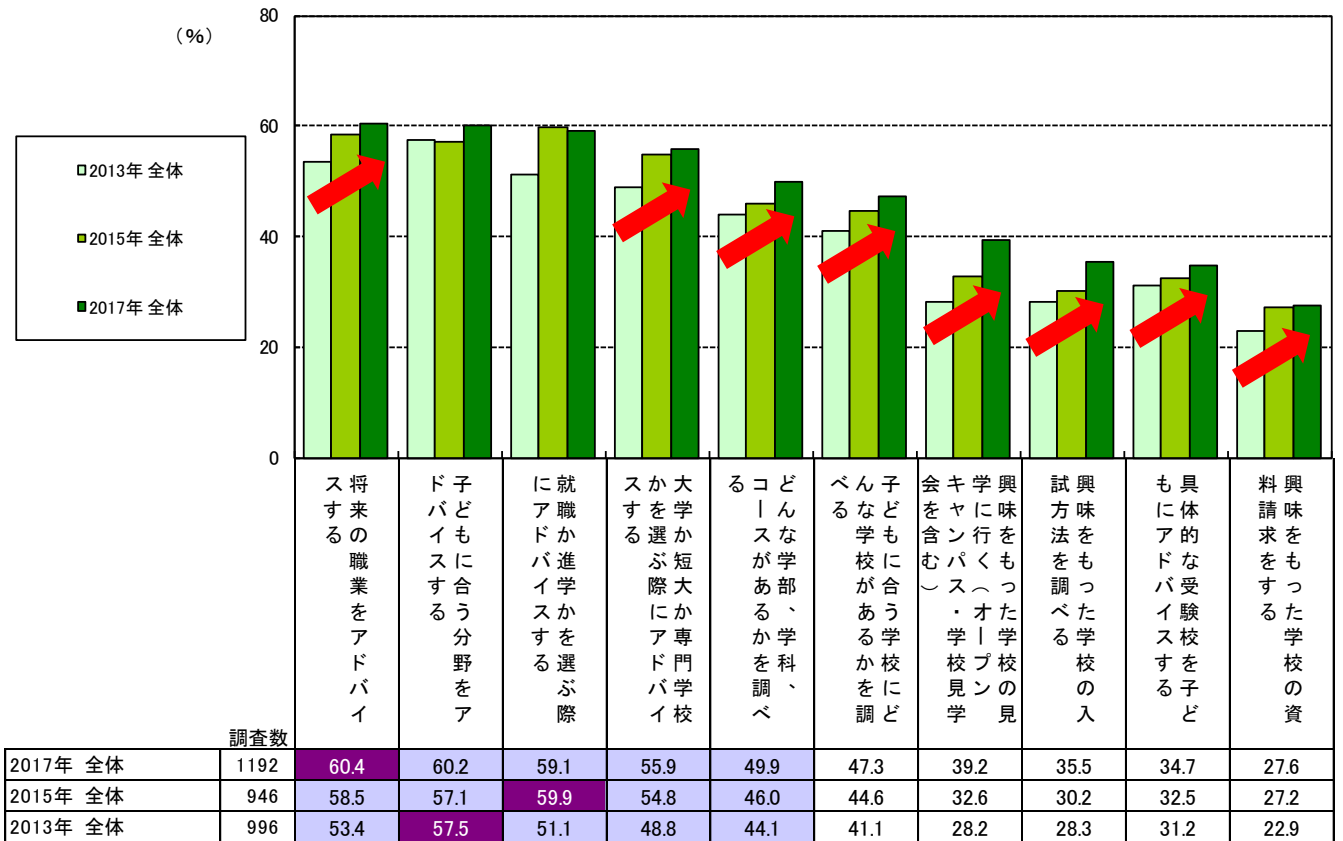
■子どもの進路選択において、保護者が行ったことがあるのは「将来の職業をアドバイスする」がトップ。

- 1位「将来の職業をアドバイスする」(60.4%)
- 2位「子どもに合う分野をアドバイスする」(60.2%)
- 3位「就職か進学かを選ぶ際にアドバイスする」(59.1%)

- ・10項目中8項目で2回連続ポイントがアップしており、保護者の進路選択行動への関わりが増している。
- ・特に「興味をもった学校の見学に行く」は前々回から11.0ポイントと全項目の中で一番アップしており、オープンキャンパスへの保護者参加が増えている。

【保護者】時系列 進路選択行動の関わり方：行ったことがある(※1) (進学希望者/各単一回答)

※1「行ったことがある」「行ったことはないが、今後行いたい」「行ったことはなく、今後も行うつもりはない」のうち、「行ったことがある」と回答した者のみ



※「2017年」降順ソート

100.0 各年で最も高い
100.0 各年で2～5番目に高い

【高校生：進路選択時の気持ちとやめてほしいこと/してほしいこと】

■ 進路選択を考える時の気持ちは、「楽しい」23%、「不安」72%。

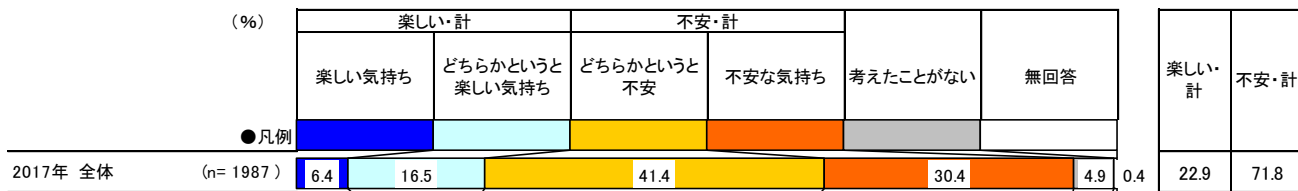
「不安」な気持ちの高校生が7割を超える。

■ 進路選択で保護者にやめてほしいことは、「望みを高く持ちすぎないでほしい」が31%でトップ。

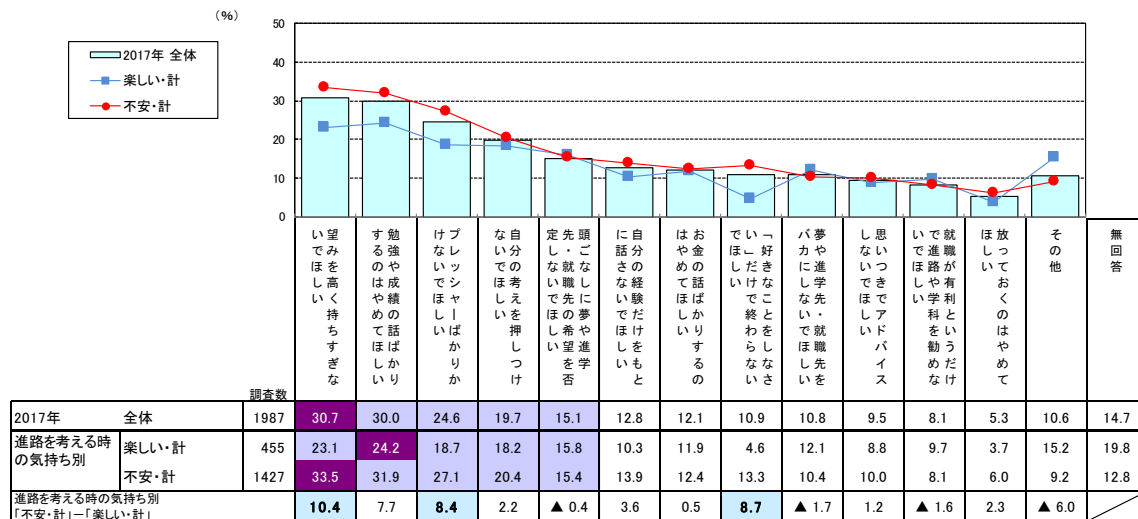
・ 進路を考える時の気持ち別にみても、「やめてほしいこと」との差が大きいのは「望みを高く持ちすぎないでほしい」「『好きなことをしなさい』だけで終わらないでほしい」「プレッシャーばかりかけないでほしい」の順であった。

■ 一方、進路選択で保護者にしてほしいことは「私の考えを尊重する」が35%でトップ。

【高校生】2017年 進路を考える時、どんな気持ちになるか（全体／単一回答）

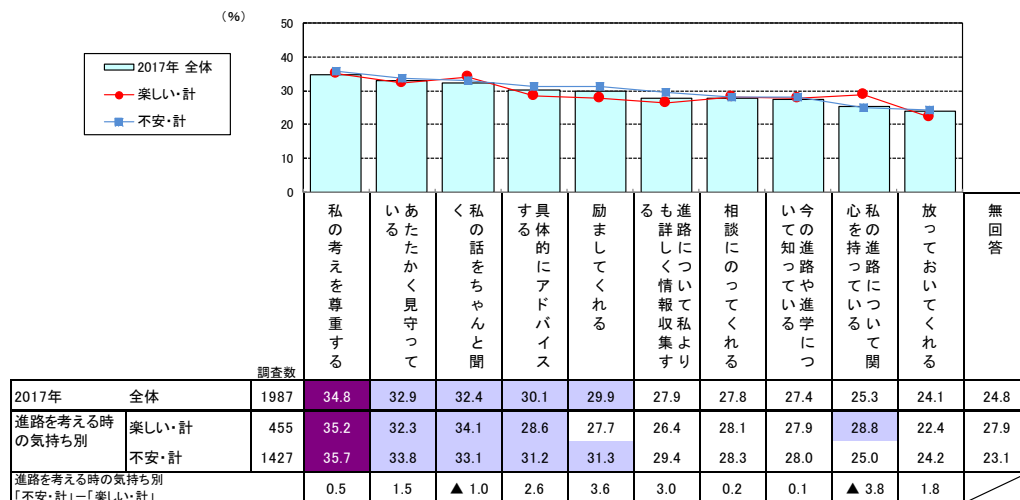


【高校生】2017年 進路選択で保護者にやめてほしいこと（全体／複数回答）



※「2017年全体」降順ソート
 100.0 各属性で最も高い
 100.0 各属性で2~5番目に高い
 10 「不安・楽しい」の差TOP3項目

【高校生】2017年 進路選択で保護者にしてほしいこと（全体／複数回答）

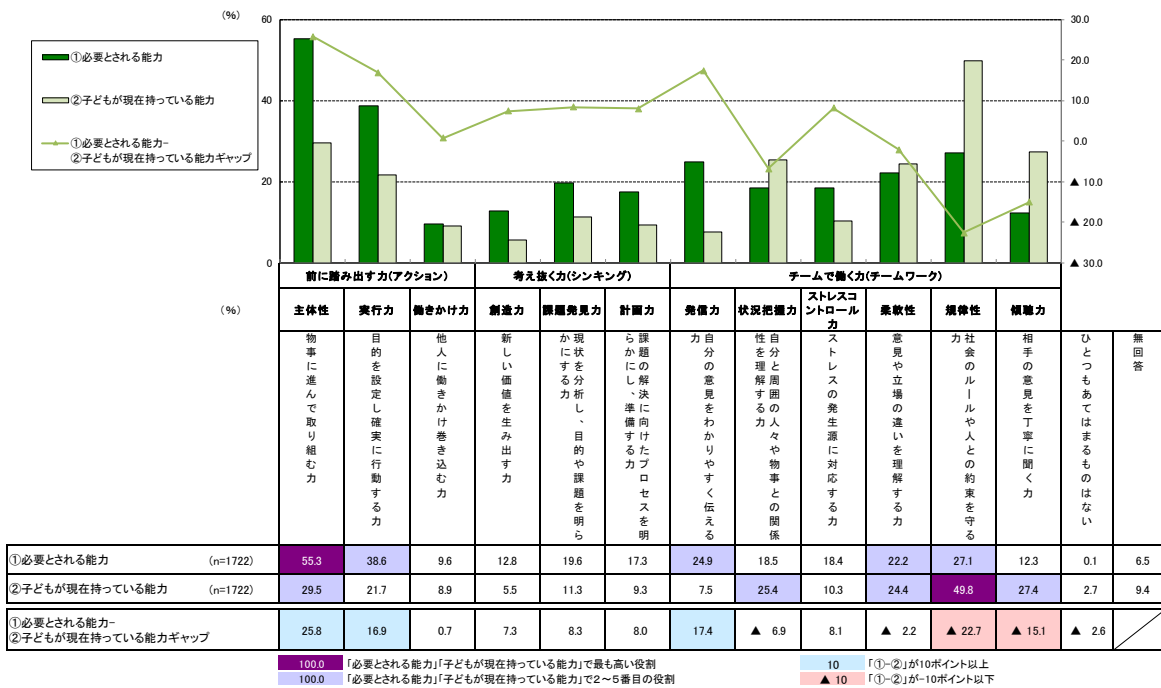


※「2017年全体」降順ソート
 100.0 各属性で最も高い
 100.0 各属性で2~5番目に高い

【保護者】 将来必要な力と現在持っている力のギャップ

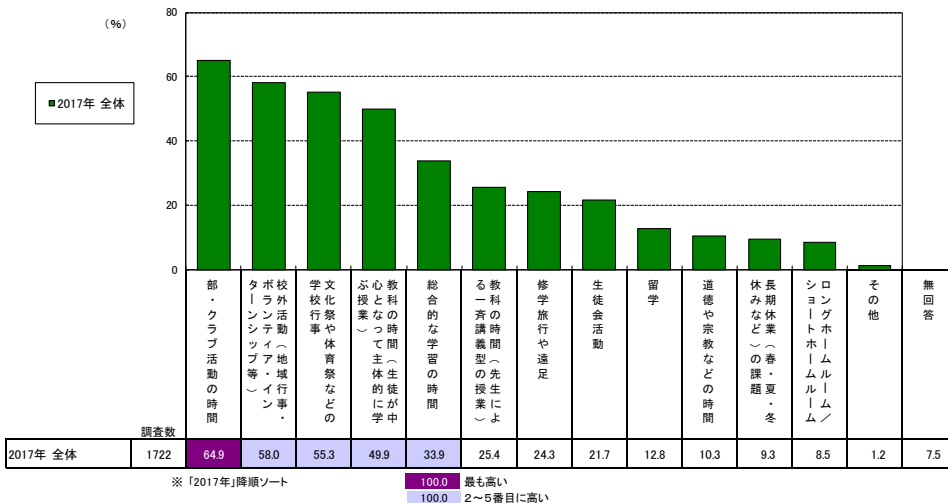
- 「社会で働くにあたって必要とされる」が子どもに不足している能力は、「主体性」「実行力」「発信力」。
一方、子どもが現在持っている力は、「規律性」「傾聴力」。
- 「社会で働くにあたって必要とされる能力」を身につける有効な場のトップ3は、すべて教科外活動（部活動・校外活動・文化祭や体育祭）で教科の学習（教科の時間・総合的な学習の時間）より高いスコアとなった。
1位「部・クラブ活動の時間」（64.9%）
2位「校外活動(地域行事・ボランティア・インターンシップ等）」（58.0%）
3位「文化祭や体育祭などの学校行事」（55.3%）
4位「教科の時間(生徒が中心となって主体的に学ぶ授業）」（49.9%）
5位「総合的な学習の時間」（33.9%）

【保護者】 「社会で働くにあたって必要とされる能力」と「子どもが現在持っている能力」（全体/各3項目まで複数回答）



※選択肢は経済産業省が提唱する、3つの能力(12の能力要素)から構成される『社会人基礎力』

【保護者】 必要な能力を身につけるのに有効な場（全体/複数回答）



【保護者・高校生：これからの社会は好ましいか】

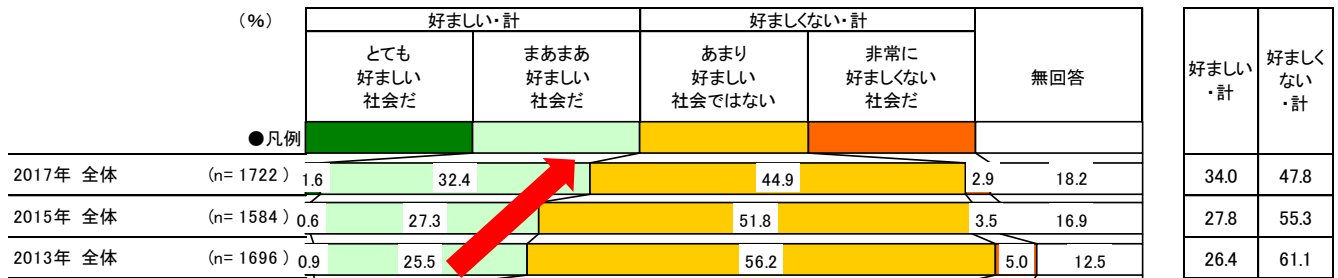
■保護者の34%、高校生の52%が、これからの社会は「好ましい」と回答。 高校生は「好ましい」が「好ましくない」を上回った。

- ・保護者 「好ましい」 (34.0%) < 「好ましくない」 (47.8%)
- ・高校生 「好ましい」 (51.5%) > 「好ましくない」 (44.8%)

■保護者・高校生ともに「好ましい」と回答している割合は、 前々回調査（2013年）より大幅に増加。

- ・保護者「好ましい」 2013年 (26.4%) < 2015年 (27.8%) < 2017年 (34.0%)
- ・高校生「好ましい」 2013年 (41.9%) < 2015年 (48.1%) < 2017年 (51.5%)

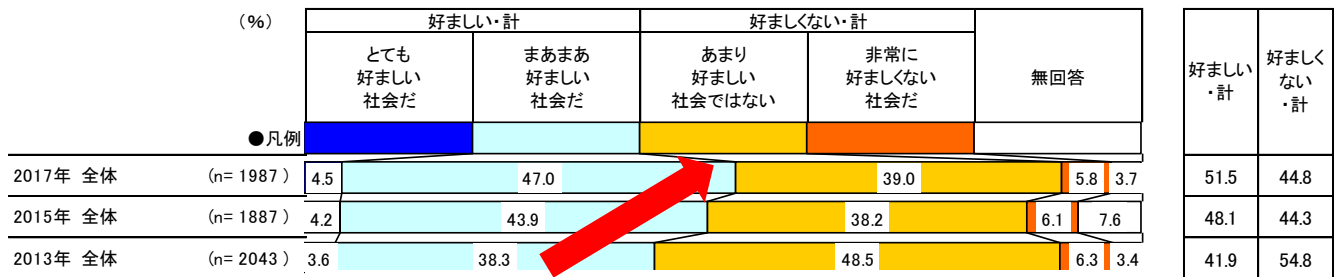
【保護者】時系列 これからの社会は子どもにとって好ましい社会か（全体／単一回答）



好ましい： 「女性が出産しても働き続けることができる社会の雰囲気・環境が少しずつ整ってきているから。」
「私が子供の頃より、いろいろな生き方が認められる時代になっているから。」
「奨学金にも給付型が導入されるなど、こどもの教育も良くなっていきそうだから。」
「オリンピックを控え、少しずつ景気が良くなりそうだから。」

好ましくない： 「社会状況が不安定な為。」
「今までに経験したことのない少子高齢化による社会。AIの発展する社会でどう生きることができるのか。」
「社会の変化が激しい。効率化を求めるあまり、仕事の楽しさを感じにくい。」
「オリンピックが終わってから就職活動をしなければいけないので、求人が減ってしまいそうだから。」

【高校生】時系列 未来展望：これからの社会はあなたにとって好ましいか（全体／単一回答）



好ましい： 「AIなどの登場で雇用も減るだろうけど、開発側として働くのはできるだろうから。」
「オリンピックも近いので、雇用や経済はゆたかになると思うから。」
「グローバル化が進んで、仕事の多様性が生まれたから」「男女の格差がなくなってきているから。」

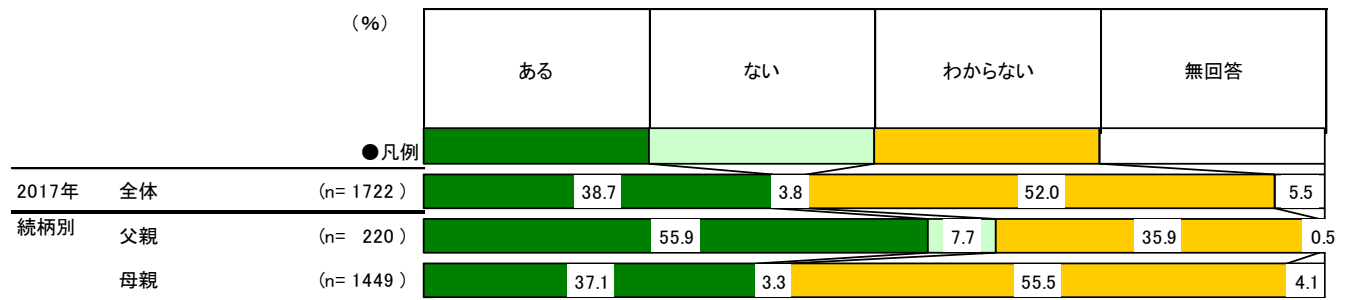
好ましくない： 「少子高齢化社会が進み、自分たち若い世代の負担が重くなるから。今現在、政治状況もあまり良くないから。」
「増税や社会保障の負担が大きくなっていき、若い人たちの暮らしが悪くなっていく一方だから。」
「“ブラック企業などで残業時間が大幅に増えたため過労死してしまった”というニュースをよく聞くようになったから。」

【保護者・高校生：AI(人工知能)の発達の将来への影響】

■ AIの将来への影響について、「影響がある」と回答した 保護者は39%、高校生は52%と、高校生の方が13ポイントも高かった。

- ・「影響がある」 保護者 (38.7%) < 高校生 (52.0%)
- ・「影響はない」 保護者 (3.8%) < 高校生 (8.5%)
- ・「わからない」 保護者 (52.0%) > 高校生 (37.8%)
- ・保護者；続柄別にみると、父親の方が母親より「影響がある」が18.8ポイント高い。
- ・高校生；男女別にみると、男子の方が女子より「影響がある」が6.7ポイント高い。

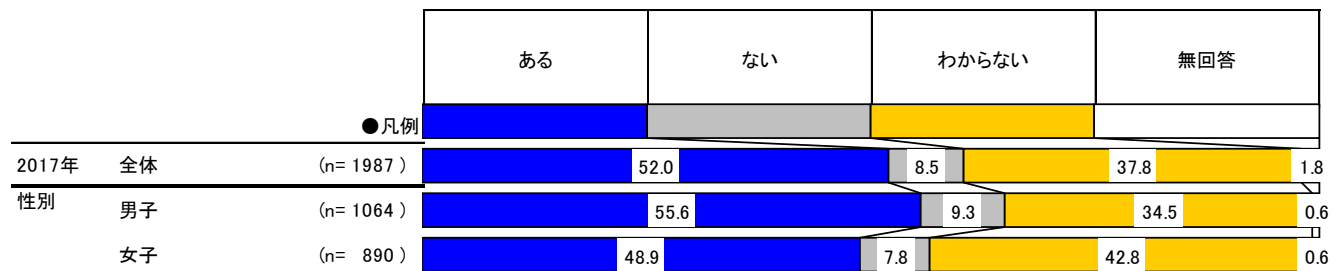
【保護者】2017年 子どもの将来にAI(人工知能)などの普及・発達の影響があると思うか (全体/単一回答)



影響がある： 「「職業」がかわってくる。人間でしかできないことが重視されてくる。」
「A Iの発達などの技術革新の普及・発達にともない雇用が少なくなるように思う。」
「私たちが高校時代になかった職業が現在存在する。予測不可能だから。」
「手作りの良さや人との会話が社会と繋がっていくためには必要なことだと思うので、多様化する社会に対応できる人に育てることが必要だと思う。」

影響はない： 「どんな時代でも、人間ができること人間しかできないことがある。」
「A Iが発達しても将来はその時に自分でそれに合わせればよいと思う。」
「影響しない生き方を選択することも可能。」
「子どもがAIの影響を受けない“食”にかかわる仕事を希望しているため。」

【高校生】2017年 自分の将来にAI(人工知能)などの普及・発達の影響があると思うか (全体/単一回答)



影響がある： 「なくなる仕事や新しく必要になる仕事が出てくると思うから。」
「A Iの発達がすすむと、人間の仕事が奪われる可能性がある。」
「スマートフォンにも人工知能が入っていて、どんどん生活が便利になると思ったから。」
「2045年には人工知能が人間の脳をこえと言われてるから。」

影響はない： 「A Iが発達してもそれを制御するのは人間でないといけないから。」
「A Iは自動化は優れているが、新しい価値のあるものを見出せないから。」
「私が目指している分野の仕事はA Iにとってかわることができないと言われてるから。」
「人と人とのコミュニケーションが大切な職に就くつもりだから。」
「医療は人の心に関わることなので、A Iにはできないと思うから。」 「メイクの技術はA Iではできないと聞いたから。」

【保護者・高校生：就いてほしい（就きたい）職業】

■保護者の「就いてほしい職業」のトップは「公務員」32%。

・子どもの性別：男子 1位 「公務員」 女子 1位 「看護師」

■高校生の「就きたい職業」のトップは「教師」11%。

・男子 1位 「公務員」 女子 1位 「看護師」

【保護者】就いてほしい職業(就いてほしい職業があると回答したうち、有効記入があったもの/自由記入をコーディング)

全体(n=241)			子どもの性別 男子(n=129)			子どもの性別 女子(n=110)		
順位	職業	%	順位	職業	%	順位	職業	%
1	公務員	32.0	1	公務員	44.2	1	看護師	24.5
2	看護師	12.9	2	医師・歯科医師・獣医	11.6	2	公務員	17.3
3	医療事務・医療関連	9.5	3	医療事務・医療関連	8.5	3	医療事務・医療関連	10.9
4	医師・歯科医師・獣医	8.7	4	教師	7.0	4	薬剤師	7.3
5	教師	5.8	5	製造業（自動車・造船など）	6.2	5	医師・歯科医師・獣医	5.5
7	製造業（自動車・造船など）	3.7	6	技術者・研究者	5.4	6	教師	4.5
	技術者・研究者		7	薬剤師	4.7	7	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	3.6
9	社会福祉士・介護福祉士・福祉関連	2.1	8	看護師	2.3	管理栄養士・栄養士		
10	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	1.7		鉄道関連		9	保健師	2.7
	管理栄養士・栄養士		調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	9	社会福祉士・介護福祉士・福祉関連			

その職業に就いてほしい理由：

- 公務員： 「安定した職業であり、国や地方が潰れる事は滅多にないので。」
「給料や休暇が安定しているから。」
- 看護師： 「将来的に結婚、出産しても病院の託児所があるため直ぐに復帰する事が出来るので。女性に強い職種でやりがいもあるのです。」
「手に職を身に付けてほしいから。」 「女性として、働きがいのある。年齢、状況に合わせた働き方ができる。」
- 医療事務・医療関連： 「資格を取って、年を取っても働ける様に。」
「就職先がたくさんあるから。」
「本人も医療職を希望しているので、又、専門職であるため、人の健康維持に取り組んで充実感を得る事ができる。」

【高校生】就きたい職業(就きたい職業があると回答したうち、有効記入があったもの/自由記入をコーディング)

全体(n=1045)			男子(n=480)			女子(n=554)		
順位	職業	%	順位	職業	%	順位	職業	%
1	教師	10.5	1	公務員	16.0	1	看護師	13.7
2	公務員	10.2	2	製造業（自動車・造船など）	14.0	2	教師	9.0
3	看護師	7.9	3	教師	12.1	3	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	9.0
4	製造業（自動車・造船など）	7.0	4	医師・歯科医師・獣医	7.1	4	公務員	5.2
5	医師・歯科医師・獣医	5.6	5	エンジニア・プログラマー・IT関連	5.4	5	薬剤師	4.7
6	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	5.3	6	技術者・研究者	5.2	6	医師・歯科医師・獣医	4.5
7	薬剤師	4.3	7	建築士・建築関連	4.6	7	管理栄養士・栄養士	4.0
8	技術者・研究者	3.3	8	薬剤師	4.0		美容師・理容師・ヘアメイクアーティスト・エステティシャン・美容関連	
9	建築士・建築関連	3.2	9	画家・イラストレーター・アニメーター・CGデザイナー・芸術・ゲーム関連	2.7	9	放射線技師・臨床検査技師	2.9
10	美容師・理容師・ヘアメイクアーティスト・エステティシャン・美容関連	3.1	10	放射線技師・臨床検査技師	2.1	10	社会福祉士・介護福祉士・福祉関連	2.5
						臨床心理士・心理カウンセラー・スクールカウンセラー・心理関連		

その職業に就きたい理由：

- 教師： 「これまで多くの先生を見てきて、教師という職業に興味をもつようになり、また、生徒に教えることは大変でも、やりがいのあることに思えたから。」（男子）
「安定した職につきたいから。憧れがあるから。」（女子）
- 公務員： 「休みがしっかりとれてお金も安定してもらえると、やめさせられることも少ないため。」（女子）
「地元の為に働きたいと思うから。」 「収入が安定している、週休二日だから。」（男子）
- 看護師： 「幼いころにたくさんお世話になって、自分も人を笑顔にしたいと思ったから。」 「祖母のような看護師になりたいから。」（女子）
「人と関わる仕事また、人を助ける仕事に就きたいと思っていたから。また、将来も続けた場合、安定して生活できる環境が良いから。」（女子）

※「公務員」は「公務員（国家・地方）」「公務員（警察・消防・自衛官）」の合算値